

生麦中だより

令和3年度(2021) 1月【9号】(2022年)

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>



新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

生麦中学校
職員一同

「和顔愛語」(わげんあいご) ~私たちの生活の中で~

校長 山口 毅

新しい年を迎えました。

生徒の皆さんには、互いに支え合い日々の学校生活が充実した年になることを期待しています。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が長期にわたって発出されました。11月には感染者数が激減して明るい光が差し込んだ矢先に、新たなオミクロン株の感染拡大によって再び不安な日々が続いています。

そのような厳しい状況であっても、皆さんの「マスクの中の笑顔」や「挨拶」が私たちや地域の皆さんに多くの励ましを与えてくれています。ありがとうございます。

先日、友人と話す機会がありました。その中で、素敵な笑顔で常に人と接している友人の祖母の話になりました。

なごやかな顔と思いやりの言葉で人に接することを「和顔愛語(わげんあいご)」というそうです。仏教のお経の中にある言葉で、「辛いときや嫌なことがあったとき、愚痴をこぼしたくなる時、そんなときこそ、まず自分から笑顔と優しい言葉で周りの人に接する姿勢」を取るのだそうです。

そう思うと、私の周りにも“和やかな笑顔と思いやりのある話し方”で人に接している方がいることを思い出します。まさに「和顔愛語(わげんあいご)」を実践されていたような方です。

人は課題にぶつかった時や困難な時、他者に責任を向けたり、周囲に不満を漏らしたりしてしまうことがあります。今後、厳しい課題や困難に出あうことがあるかもしれません。

そんな時に、明るく和やかな笑顔と思いやりの気持ちを大切に人と接することが出来れば、より良い年になると確信しています。

激しく変化し先の見えない時代に、自ら課題を見出し、未来を切り開いていく。とても難しいことですが、生麦中学校の皆さんに期待しています。

未来をつくる力は、弱者を尊重する社会から生まれてきます。多様性のなかに未来をつくる力は隠されています。だからこそ、なごやかな顔と思いやりの言葉で人に接することが重要になると思えるのです。

後から知ったのですが、「和顔愛語」には「先意承問(せんいじょうもん)」という言葉が続くそうです。「先意承問(せんいじょうもん)」とは、「先に相手の気持ちを察して、相手のために何が出来るか自分自身に問いたです」ことだそうです。

私たちが私たちのままで尊重される学校、私たちが安心して弱音を言える学校であるために、本年も生麦中学校全職員で取り組んでまいります。

保護者・地域の皆さまのご理解とご支援を得て、今年を全生徒と未来への夢を共有する一年にできれば、これに勝る喜びはありません。皆さまのご健勝とご活躍を祈念しつつ、改めて、新年のご挨拶を申し上げます。

●昼食 パン販売についてのお知らせ

昼食パン販売について、業者都合により令和4年1月より、月曜日のパン販売がなくなります。

火曜日から金曜日までは、現在と同じように注文・販売はあります。

保護者の皆さまには、ご不便をお掛けしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。



中学生・高校生のみなさんへ
～ 不安や悩みを話してみよう ～

明けましておめでとうございます。冬休みも終わりましたが、自分自身の進路の問題や、家庭内の問題、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。

誰にでも悩みや不安はあるものです。悩みや不安を一人で抱え込まず、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰にでもいいからあなたの悩みを話してみませんか。必ずあなたの味方になってくれる人がいます。周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットで相談できる窓口もあります。気軽にあなたの悩みを話してみてください。

あなたの周りに元気がない友達がいたら、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。また、ぜひ身近に相談できる機関としてどのようなものがあるのか調べてみてください。

相談窓口などのPR動画
<Youtube>



<https://youtu.be/CiZTk8vB26I>



電話やメール、ネット等の相談窓口
(リンク先に相談窓口一覧があります。)

24時間子どもSOSダイヤル (通話無料) **0120-0-78310**



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



令和4年1月
文部科学大臣 末松 信介